

# KATE

## The 45<sup>th</sup> ANNUAL CONVENTION IN GUNMA

- via online

### 関東甲信越英語教育学会 第45回群馬研究大会(オンライン)(一次案内)

関東甲信越英語教育学会会長 齊田 智里 (横浜国立大学)  
群馬研究大会(オンライン)実行委員長 飯島 睦美 (群馬大学)  
群馬研究大会(オンライン)副実行委員長 伊藤 文彦 (群馬工業高等専門学校)

2021年12月11日(土)・12日(日)の2日間、関東甲信越英語教育学会第45回群馬研究大会をオンラインにて開催いたします。  
皆さまのご参加をお待ちしております。

- 期 日: 2021年12月11日(土)・12日(日)
- 主 催: 関東甲信越英語教育学会 学会事務局  
〒651-2187 兵庫県神戸市西区学園東町9-1  
神戸市外国語大学 濱田 彰 研究室内  
E-mail:kate.office.info@gmail.com  
学会ウェブサイト:<http://www.kate-j.sakura.ne.jp/>
- 共 催: 国立大学法人群馬大学
- 後 援: 群馬県教育委員会
- 本大会に関する問い合わせ先  
第45回群馬研究大会(オンライン)事務局  
〒340-0042 埼玉県草加市学園町1-1  
獨協大学 羽山 恵 研究室内  
E-mail:kate2021online@gmail.com

## 関東甲信越英語教育学会第45回群馬研究大会(オンライン) プログラム一覧

12月11日(土)	
On Demand	自由研究発表・実践報告 (大会ウェブサイトにて配信 <sup>(1)</sup> )
12:00-12:30	総会 (会員の皆さまのご参加をお願い申し上げます)
13:00-13:10	<b>開会行事</b>
13:15-14:15	ワークショップ1 (Zoomにてライブ開催)
12月12日(日)	
On Demand	自由研究発表・実践報告 (大会ウェブサイトにて配信 <sup>(1)</sup> )
12:30-13:30	ワークショップ2 (Zoomにてライブ開催)
	協賛企業動画配信
13:40-14:40	ワークショップ3 (Zoomにてライブ開催)
	協賛企業動画配信
14:50-16:20	シンポジウム (Zoomにてライブ開催)
16:20-16:30	<b>閉会行事</b>

<sup>(1)</sup> 掲載期間:2021年12月11日(土)~15日(水) 但し、質疑応答期間は大会開催期間とする。

### 大会参加

■ 大会参加(オンライン視聴)にあたっては、大会ウェブサイトから事前申込を行ってください。事前申込の締切は、2021年11月26日(金:23時59分)です。

1.シンポジウム・ワークショップ:12月6日(月)にZoomのURL・ID・Passwordが送信されま  
す。大切に保管しておいてください。

2.自由研究発表・実践報告:参加申込後に“参加申込番号(Registration number)”と“視聴用  
のPassword”が送信されますので、大切に保管してください。

大会ウェブサイトは 2021年10月1日(金)公開予定。URL:<https://kate-jp.sakura.ne.jp/t/>

**注意:発表者も参加申し込みが必要です。発表者の方は、参加申し込みをお忘れないように願  
いします。**

■ 大会参加費:

・KATE 会員:無料 (ただし11月26日(金)までに2021年度年会費を納入ください。)

・非会員:2,000円 (ただし非会員の大学生・常勤職を持たない大学院生は1,000円。)

## シンポジウム

■ 日時: 2021年12月12日(日)14:50-16:20

■ テーマ:「『自分のことば』で語るリテリング活動:暗唱活動に陥らないための指導の工夫」

■ 司会:浅見道明氏(筑波学院大学)

コーディネーター:卯城祐司氏(筑波大学)

発表:松下信之氏(大阪府教育庁),櫻井亮氏(埼玉県八潮市立大原中学校)

■ 概要:リテリング(再話)は「英文に目を通したあとに、原稿を見ないで、その内容を知らない人に伝える活動」である。「相手にわかりやすく伝えよう」とすることで、頭の中で英文内容が整理され、内容理解が深まる。現在多くの教室で行われている活動であるが、教師でもいざやってみると、本文を思い出そうと必死になる。それでは、memorizationである。また、発音や文法を細かく評価すると、生徒は本文の正確な再生に注力するようになってしまう。生徒が memorization から脱却し、「自分のことば」でリテリングできるようになるための指導や評価の方法について提案する。

## ワークショップ1

■ テーマ:「学校教育現場でのリサーチで使うテスト材料を作ってみよう」

■ 司会・コーディネーター:伊藤泰子氏(KATE研究推進委員会委員長,神田外語大学)

発表:KATE研究推進委員会

■ 概要:研究推進委員会がこれまで行ってきた研究では様々なテスト材料を開発してきた。本ワークショップでは、まずそれらのテスト材料の開発過程で重ねた議論の概要と、その結果完成したテストについて述べる。その後、学校教育現場で生徒を対象にデータを集めるときの留意点に配慮しながら、参加者に実際にテスト材料の作成について考えて頂く。研究は批判的に見るのが大切であるが、批判するだけでなく代替案を提示することでより建設的な議論ができる。このワークショップでは「教育現場でのデータ収集の難しさ楽しさ」が伝わることを目指す。

## ワークショップ2

■ テーマ:「新しい教育課程の実施に向けた高等学校外国語教育の取組について

～|人|台端末を活用した指導と評価の事例を中心に～」

■ 司会:川島智幸氏(群馬大学)

発表:内田三和氏(群馬県教育委員会),星野舞氏(群馬県立前橋西高等学校),

大久保泰希氏(群馬県立高崎高等学校)

■ 概要:令和4年度から実施される高等学校学習指導要領においては、「外国語を使って何ができるようになることを目指すか」という目標を学校内外と共有し、ALT等の外部人材との連携、様々な教材やICTの効果的な活用を図りながら、外国語の教育課程を編成、実施し、学習評価

を踏まえた改善を行っていくことが求められている。本発表では、1人1台の端末を活用して行われた、フィリピンの学校との合同授業の事例と、話すことの指導と評価の事例を中心に、本県の県立高等学校における取組を紹介する。

### ワークショップ3

- テーマ:「英語4技能をバランスよく育成し、コミュニケーション力を高める指導について  
～『群馬の中学生 英語4技能スキルアップ事業』をとおして～」
- 司 会:伊藤文彦氏(群馬工業高等専門学校)  
発 表:田村強氏(群馬県教育委員会),加茂葉子氏(高崎市立箕郷中学校),  
飯島美貴氏(高崎市立箕輪小学校),飯島睦美氏(群馬大学)
- 概 要:平成25年、文部科学省が「グローバル化に対応した英語教育改革実施計画」において、小学校における英語教育の早期化,中・高等学校における英語教育の高度化など,小・中・高等学校を通じた英語教育全体の抜本的充実を図ることを公表した。本県においても,それらを踏まえ,これまで様々な取組を行ってきた。そうした取組の一つとして平成30年度から令和2年度の計画で実施した「群馬の中学生 英語4技能スキルアップ事業」を中心に,英語4技能をバランスよく育成しながら,コミュニケーション力を高めるための本県の取組を紹介する。また,続けて,4技能のバランスのとれたスムーズな育成を支えるべく,英語学習を始めたばかりの学習者や英語学習につまずきやすい学習者のための音韻意識養成に関する取組例や手立ての方法例を紹介する。

### 自由研究発表・実践報告の発表申込

- 発表資格:2021年11月13日(土)までに2021年度のKATE年会費を納入済みの方。共同発表者も同じです。入会手続きは学会ウェブサイト(<http://www.kate-j.sakura.ne.jp/join.html>)で行ってください。発表件数は筆頭著者として1件まで,それ以外を含めて最大2件までとします。
- 発表申込・『発表要旨』の送付:①自由研究発表・実践報告の発表申込と『発表要旨』(600字以内)は,2021年10月1日(金)から10月18日(月) (10月31日(日)に延長いたしました)までに,大会ウェブサイト([https://kate-jp.sakura.ne.jp/t/presenter\\_form/](https://kate-jp.sakura.ne.jp/t/presenter_form/))からお送りください。(この期間内ならば申し込み後の修正可能。それ以降は不可。)②受付期間終了後,11月13日(土)までに年会費を納入されていないことが判明した場合,一時お申し込みを取り消させていただきます。③お申し込み時の内容が不適切な場合は,10月25日(月) (11月5日(金)に延長いたしました)までに担当者から連絡させていただきます。(発表が取り消される場合もあります。)
- 『発表要綱』原稿の送付:『発表要綱』(A4・1ページ)の原稿は,2021年10月1日(金)から10月31日(日)までに,大会ウェブサイト([https://kate-jp.sakura.ne.jp/t/presenter\\_form/](https://kate-jp.sakura.ne.jp/t/presenter_form/))からお送りください。(この期間内ならば一度送信したワードファイルに修正があった場合,

再送信可能。それ以降は不可。)②『発表要綱』の原稿を審査し、修正のお願いをすることがあります。(『発表要綱』の原稿の提出および修正後の原稿の提出がない場合は発表が取り消されます。)

■ 自由研究発表・実践報告の方法:以下の2通りから選んでください。

1. PowerPoint スライドによる発表:スライドは 30 ページ以内に収めていただき、2021 年 11 月 15 日(月)~11 月 22 日(月)に.pptx 形式もしくは.ppt 形式のファイルを大会ウェブサイトの指示に従ってお送りください。なお、ファイルに音声・動画・アニメーションを埋めこむことはできません。

2. YouTube 動画による発表:15 分以内(500MB 以下を厳守ください)の発表録画ファイルを作成していただき、2021 年 11 月 15 日(月)~11 月 22 日(月)に.mp4 形式のファイルを、大会ウェブサイトの指示に従ってお送りください。なお PowerPoint スライドに音声・動画・アニメーションを埋め込む場合は、YouTube 動画での発表となります。.mp4 形式のファイルを作成する方法は大会ウェブサイトをご参照ください。

■ 発表資料の掲載期間と質疑応答:大会ウェブサイト・YouTube に公開された発表資料は、2021 年 12 月 11 日(土)~15 日(水)の5日間掲載します。各発表者に対してコメントを投稿できるスペースを設けます。大会参加者と発表者は、学会開催中の 2021 年 12 月 11 日(土)・12 日(日)の 2 日間、コメント欄を通して自由に質疑応答をすることができます。

■ 注意:発表者も参加申し込みが必要です。発表者の方は、参加申し込みをお忘れないように願います。

#### オンライン研究大会ご参加にあたってのお願い

■ 登壇者・発表者以外の方は原則としてカメラ・マイクをオフにしてご参加ください。

■ Zoom 入室の際に、「参加登録時に返信されます“参加申込番号(Registration number)”」を「事前参加登録時に記入した氏名」の前に記入し、ご参加ください。(大会参加登録された氏名以外で参加されている場合、お声がけさせていただくことがございます。)

#### 学会からのご案内

■ 本研究大会には、関東甲信越英語教育学会会員でなくても既定の参加費をお支払いいただくことでご参加いただけます。

■ 関東甲信越英語教育学会にご入会いただけますと、会員の特典の一環として会員扱い(無料)で本大会にご参加いただけます。そのほか、本学会主催の各種行事、学会紀要やニュースレターなどの刊行物、学会紀要への投稿資格などの特典がございます。ぜひこの機会にご入会をご検討ください。

最新の大会情報は学会ウェブサイトからご確認ください。